

災害時の助け合いのために自主防災組織を結成しましょう

突然の災害では、地域の皆さんで協力し合うことが大切です。自主防災組織では、行政機関との調整や防災訓練の実施など、緊急時に地域一丸となって対応できるための活動を行います。



「もしも」のために備えよう！ 9月1日は「防災の日」

災害被害を最小限に、安心安全な地域づくり

特集 3

お問い合わせは

総務課

☎56-5005

地域の防災力向上のために

9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日まで「防災週間」です。「災害は忘れたころにやってくる」と言われます。災害による被害を最小限に抑えるためにも日ごろから「もしも」を想定した心構えと準備が必要です。

また、災害から生命・身体・財産を守るためには、市民一人ひとりが防災に対する意識を高め、共に助け合うことが大切です。

この機会に、家庭や地域の災害に対する備えをチェックしませんか。

市では、災害から身を守るために毎年「防災訓練」と「土砂災害防災訓練」を実施しています。

平成24年度は、「防災を考える ネットワーク（萌志会）」と共催で「市民防災訓練」と初の「防災運動会」を行い、234名の参加者が防災について楽しく学び、防災関係者と密接に連携することで地域の防災力向上を図りました。

「土砂災害防災訓練」では、79名が避難訓練や土砂災害のメカニズムなどの説明を受け、災害に対する普段からの準備の大切さを再確認しました。

今年の「市民防災訓練」は8月31

日(午前9時より船場公園で実施します。昨年同様、趣向を凝らした内容で分かりやすく、楽しく学べる訓練を行います。

市民防災訓練については、町内会を通じてご案内しますので、多くの市民の皆さんの参加をお願いいたします。

防災ガイド・マップを作成

市民の皆さんの防災意識を高め、災害に備えるための心構えや避難所の位置、災害時のさまざまな被害想定などを掲載した「留萌市防災ガイド・マップ」を今年2月に作成し、町内会を通じて各世帯に配布しました。

いざという時に備えて、避難場所を確認し、家族の連絡先などを書き込んでご利用ください。

また、防災ガイド・マップは、市ホームページ (<http://www.e-rumoi.go.jp>) からダウンロードすることもできます。



自主防災組織をつくらう

日本は世界有数の地震国です。平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降も震度4以上の地震が各地で頻りに発生しており、いつどこで大きな地震が起きても不思議ではありません。

万が一、大きな災害に見舞われた場合には、消防などの行政機関も被害を受けてしまい、救助の遅れや救助できない事態も考えられます。

このため災害発生直後は「自分の命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えに立ち、町内会などが地域一丸となって、活動する自主防災組織が必要とされます。

自主防災組織は、単一の町内会を母体にして結成されることが一般的ですが、いくつかの町内会や小学校などの校区単位で結成される場合もあります。

自主防災組織を設置し、平時から災害時に備え、連絡網の整備や危険箇所の把握、救急講習の受講など、住民自らが主体的に防災活動・訓練に取り組む環境づくりを整備することが求められます。

平成24年9月1日に行われた「市民防災訓練」と「防災運動会」の様子



▲赤十字奉仕団と自衛隊による炊き出し訓練



▲簡易担架・安心安全リレー



▲土のう積みリレー

町内会で話し合いを

留萌市において自主防災組織を結成しているのは、45町内会となっております。(平成25年7月1日現在)

大規模な災害が発生した場合は、水道やガスなどライフラインに混乱が生じ、防災機関のみでは十分に対応できないことが考えられることから、自主防災組織を結成し、地域の実情に応じた対応策を講じることが求められます。災害時の活動内容を想定し、誰が何を受け持ち、どのような活動を行うのかなどを皆さんで話し合い、それぞれの役割分担を決めておくといでしょう。

事務費の一部を助成

市では自主防災組織を設置した町内会の世帯数に応じて1世帯当たり100円を事務費の一部として助成します。

助成対象は、平成25年度から、前年度末までに自主防災組織を結成した町内会に一回限り助成します。

市民防災訓練や自主防災組織の結成についてなど、詳細は市・総務課危機対策係(☎56-5005)までお問い合わせください。